

銅・アルミレポート

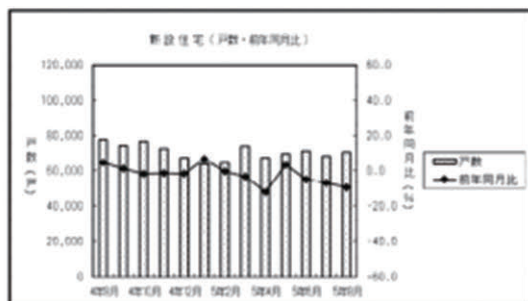
橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

9月のアルミ概況および10月の見通し(2)

予想レンジ

LME現物後場買い 2,100~2,300ドル ※
スクラップ +5円~10円(前月最終価格より) ※
為替 145円~150円 レンジ内
(1か月間TTM)

新設住宅(戸数・前年同月比)



出典 国土交通省統計

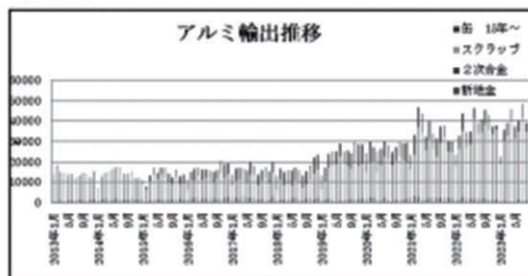
貿易指標

【輸出】

新地金は+139.1%の330 t。
二次合金は-54.8%の843 t。
スクラップは+3.4%の3万3,663 t。
アルミ缶は+32.1%の4,304 t。

輸出	6月	7月	8月
新地金	268 t	288 t	330 t
前年比	-71.1%	+60.9%	+139.1%
二次合金	1105 t	658 t	843 t
前年比	-34.3%	-68.9%	-54.8%
スクラップ	3万3473 t	4万879 t	3万3663 t
前年比	-15.1%	+29%	+3.4%
缶	5489 t	6560 t	4304 t
前年比	+7.2%	+32.2%	+32.1%

輸出推移



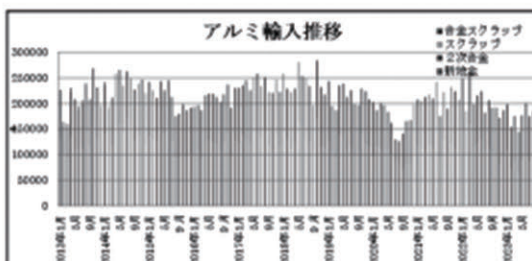
出典 財務省貿易統計

【輸入】

新地金は-16.5%の9万6,630 t。
二次合金は-3.9%の8万8,418 t。
スクラップは+64.7%の710 t。
合金スクラップは+3.8%の5,778 t。

輸入	6月	7月	8月
新地金	9万8926 t	8万6295 t	9万6630 t
前年比	-24.3%	-22.3%	-16.5%
二次合金	10万2473 t	8万7481 t	8万8418 t
前年比	+11.3%	+24.4%	-3.9%
スクラップ	612 t	290 t	710 t
前年比	-10.6%	-32.7%	+64.7%
合金スクラップ	7038 t	6579 t	5778 t
前年比	-5.9%	+18.7%	+3.8%

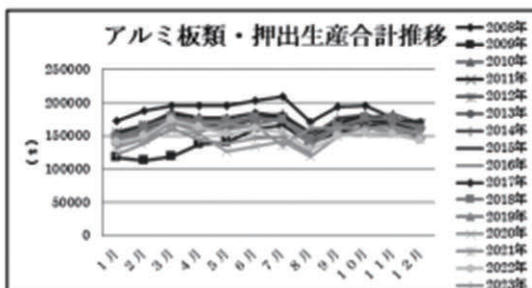
輸入推移



出典 財務省貿易統計

【アルミ圧延・押出品生産数】

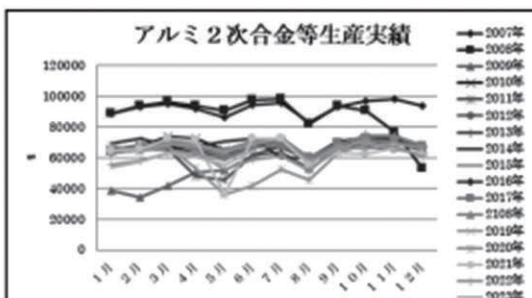
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4%の12万4,145 tで17カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム協会

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+2.3%の5万3,048 tで4カ月連続プラス。
出荷は+4.6%の5万4,726 tで3カ月連続プラス。



出典 日本アルミニウム合金協会

(次頁へ)

【見通し】

【自動車】

8月の自動車生産が+10.1%。9月国内販売台数が前年比+12.5%。

8か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり。今後に期待。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4%の12万4145tで17か月連続マイナス。

中国景気後退によるスマホ需要の低迷から来月も期待薄。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+2.3%の5万3,048tで4か月連続プラス。

出荷は+4.6%の5万4,726tで3か月連続プラス。

日本の自動車生産販売は堅調。今後に期待。

【スクラップ景況予想】

流通（一次同屋）在庫は前月に続きLME価格が2,184-2,307ドルと上昇傾向だった。在庫薄。

需要面に関しては、日本の自動車生産販売が堅調なこと、円安から輸入物が高くなっていることから需要がでてきた。今月はさらに需要が増え需給はひっ迫。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

①米FRBの金融政策、②中国の景気対策。

①に関しては、景気指標が予想を下回るなどの状況がでてきてはいるが、(FRB)高官から追加利上げへの前向きな姿勢や、政策金利を高い水準で据え置くことの必要性を示す発言が相次いでいることから引き続き引き締め警戒感が続くのではないかと。

②に関しては、中国不動産大手、中国恒大集団創業者の許家印会長が中国当局に拘束されたことから再建に暗雲、清算もあるのではないかと観測もあり警戒が必要。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,100-2,300ドル(セツル)との予想。

ドル円値は145円~150円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+5~10円程度と予想している。

(「9月のアルミ概況および10月の見通し」おわり)

nikkankinzoku.co.jp

PW nikkin202310

INAMPA ベルー：Southern Peaks社、Ariana銅プロジェクトの活動再開を発表

2023年10月6日付け報道によるとペルー鉱業技師協会(IIMP)のイベントで講演したSouthern Peaks社のRabitsch環境社会持続性担当副社長は、Ariana銅プロジェクト(Junin州)の鉱山建設を2025年に再開し、2027年に操業を開始する見通しを明らかにした。

本プロジェクトはLima州やCallao特別郡への飲用水

供給源である河川や上水設備の近傍に位置していること等の理由から訴訟が行われ、2023年3月、裁判所はプロジェクトが水資源にとってリスクではないことを示すまでの間の活動停止を命じた。

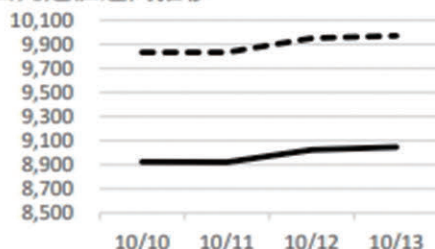
このような背景の中、Rabitsch副社長は、プロジェクトの見直しを実施し、廃滓からの水の回収率を97%に高める一方、廃滓堆積場の容量を5分の1に縮小したほか、廃滓堆積場・ズリ堆積場共に設置エリアを変更し、湖や水供給インフラ等から離れた場所に設置するとした。



金銀山元建値週間推移

10月10日~10月13日

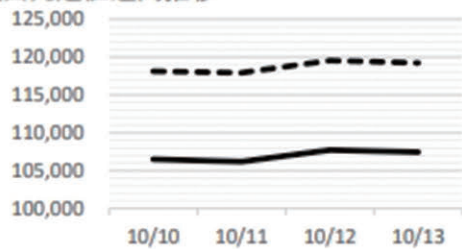
金山元建値週間推移



	10/10	10/11	10/12	10/13
金小売	9,834	9,834	9,952	9,971
金建値	8,924	8,921	9,024	9,046

	9月平均	建 値	小 売
金(¥/g)		9,131.20	10,070.30
銀(¥/kg)		112,160	124,400

銀山元建値週間推移



	10/10	10/11	10/12	10/13
銀小売	118,140	117,920	119,570	119,240
銀建値	106,490	106,190	107,730	107,440